

平成27年度事業

市町村名	越路支所
担当課名	ふるさと創生基金事業実行委員会
担当者名	平澤 聡

事業名	① 錦鯉養鯉池周辺の植樹による公園化(新規) ② 「西谷水辺の広場」整備を通じた交流事業(新規) ③ ふるさと自慢発信(もみじの茶屋)事業(新規)													
事業主体	越路地域ふるさと創生基金事業実行委員会													
年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
事業費	2,450	3,490	3,490	3,290	3,410	3,330	3,210	3,510	3,520	3,340	2,950(予定)			

(単位:千円)

事業目的等(何を達成するものなのか、将来構想にどう結びつか)	事業実施の効果(実施のメリット)
<p>① 錦鯉養鯉池周辺の植樹による公園化 岩田地域は、新幹線・高速道路等のため数十年にわたり山土搬出に貢献してきたが、その跡地に養鯉池が多数整備され広がっている。これを取り巻く周辺に植樹をし、さらなる美観を作り、大勢の人が散策する公園化をしたい。</p> <p>② 「西谷水辺の広場」整備を通じた交流事業 西谷地域の豊かな自然環境を地域内外の皆様にも案内できるよう、平成22年度にふるさと創生基金をいただいて西谷水辺の広場を整備した。現在、水辺は地域の様々な世代の人たちの憩いの場になっているだけでなく、西谷鉱泉の来訪者など地域外の人々にも親しまれている。また、水辺の維持管理作業を通じて地域住民の交流も盛んになっている。 このように、水辺を通じて地域内外の交流が生まれることから、さらに魅力的な水辺づくりを進めていくことで、地域活性の一助としたい。また、生き物調査やホテル祭りなどの交流イベントを行うことで、地域の宝ともいえる西谷の豊かな自然環境をより多くの住民や来訪者に実感していただきたい。</p> <p>③ ふるさと自慢発信(もみじの茶屋)事業 長岡南越路スマートIC開通以来、越路地域に多くの観光客が訪れて市観光施設のもみじ園にて紅葉を楽しまれている。これを地域経済活性化の好機と捕え、地場製品の宣伝を行いながら、リピーターの呼び込みと販売促進を行う。</p>	<p>① 錦鯉養鯉池周辺の植樹による公園化 錦鯉養鯉池周辺に植樹をし、美観を作ることで、年間を通じて地域住民の憩いの場として活用し、地域活性化を図る。また、隣接する勝保河内水田周辺はホテルの観測地点であり、田植え・稲刈りには関東周辺から多数の人が参加し、作業とともに交流する憩いの場所としても活用できる。</p> <p>② 「西谷水辺の広場」整備を通じた交流事業 西谷水辺の広場を整備することにより、地域内外の交流活動が充実し、地域活性化が期待できる。</p> <p>③ ふるさと自慢発信(もみじの茶屋)事業 早期に首都圏や関西圏等に越路地域のPR活動を行うことで、誘客促進が図れる。また、喫茶コーナーや地場産品おみやげコーナー等を充実させることで、地域経済活性化の起爆剤になる。</p>

事業概要(内容と事業の進め方など)	事業実施に係る背景等
<p>① 錦鯉養鯉池周辺の植樹による公園化 「勝保河内自然を守る会」が主体となり岩田区民による池周辺の植樹をする。 池は連続して広がっているが、三段に分かれており、それぞれ周遊できる4m幅の道路があり、その法面に大旨桜、モミジ各15本を植樹する。 10月下旬か11月上旬に桜、モミジ30本を植え付ける。</p> <p>② 「西谷水辺の広場」整備を通じた交流事業 ア: 魅力的な水辺づくりのための環境維持管理作業 イ: 住民主体の生き物調査の実施 ウ: 西谷ホテル祭りや交流会の実施 エ: イベント実施のための事前整備</p> <p>③ ふるさと自慢発信(もみじの茶屋)事業 ア: 首都圏や関西圏などに越路地域のPR活動を行う。(観光業者への商談会への参加) イ: 誘客促進のためのPR事業として、豪華景品プレゼントを題材としたスタンプラリーや各メディア、官公庁、プレイガイド、近隣ゴルフ場など県内外から来場の機会がある場所にポスターやチラシを配布する。 ウ: 高速道サービスエリア並みの喫茶コーナーや軽食提供の場、地場産品おみやげコーナーなどを行うためのスーパーコンテナ(リース)を設置し、越路地域としてふるさと自慢を発信する。併せて地域経済活性化の起爆剤となるよう販売促進に努める。</p>	<p>① 錦鯉養鯉池周辺の植樹による公園化 越路地域には、もみじ園や長谷川邸など、市が所有している宝は整備され、観光客も多くなってきているが、地元住民で草刈などの管理をして、将来に向けて隣接する勝保河内とともに自然の美しい景勝地にしていきたい。</p> <p>② 「西谷水辺の広場」整備を通じた交流事業 西谷のこの地域は、以前は田や畑などの耕作地であったが、近年は耕作するものもなく、放棄地となり雑草が生え荒地となってきている。地元住民の協力で少しでも荒地を解消し、美しい自然を取り戻していきたい。</p> <p>③ ふるさと自慢発信(もみじの茶屋)事業 長岡を代表する観光地として、越路地域のもみじ園に近年は県内外から多くの観光客、リピーターが訪れている。そこで、地域活性化のために4年前から国・県の基金を活用して売店や休憩所をリースで設置してきたが、H27年度から財源がない状況にあるので、ぜひともこの基金を活用し、越路地域のふるさと自慢を発信していきたい。</p>

事業実施の確実性、実施にあたっての課題等
<p>① 錦鯉養鯉池周辺の植樹による公園化：地権者への了解、地元の協力体制を図っていく。 ② 「西谷水辺の広場」整備を通じた交流事業：地権者への了解、地元の協力体制を図っていく。 ③ ふるさと自慢発信(もみじの茶屋)事業：H28年度以降について、財源をどのように確保していくか検討が必要。(この基金の継続も含めて)</p>

26年度事業費内訳
<p>① 錦鯉養鯉池周辺の植樹による公園化 概算150万円 ② 「西谷水辺の広場」整備を通じた交流事業 概算 57万円 ③ ふるさと自慢発信(もみじの茶屋)事業 概算 90万円</p>